



# 東京金山会通信 No.33

東京金山会 広報担当 (藤山善夫)  
☎080-5525-0435  
✉fujiyama.d.siren@ae.auone-net.jp

雪の便りが当たり前のように聞こえる季節になりました。豪雪などなく、穏やかな冬であることを願いたいですね。今回はコラムと、東京金山会の活動についてご報告いたします。

## 「東京金山コラム」Vol.12 「花園神社」

街の空気が乾いて冬の気配がするころ、ちょうど西の市・一の西が始まる。この新宿ゴールデン街の細い路地のちいさな店にも熊手を配る人たちが。江戸初期、中山道の一番目の宿場「高井戸」が遠く、その中間点に利便性と商業的な賑わいのある街を目指した「内藤新宿」を設置したのが1698年。その時代から花園神社はここ新宿の地にありました。新宿東口が、少しずつ冬モードへ切り替わる。これから訪れる2021年のクリスマスそして新たな2022年への年越し。神室山に何度か雪が降る。それは、金山が白い雪原に変わる合図。ここ新宿東口のビルと繁華街に囲まれた場所でも白い金山の雪原へ思いをめぐらす。新たな2022年が、全ての人にとって特別な意味を持った最良の年であることを願いたいですね。



**【東京金山会・役員会の報告】**  
2021年12月4日に、役員会を開催しました。まず、次期会長選考に関して、現副会長・高橋 和雄さんを選考することについて報告があり、役員会としての了承を確認。次回総会での正式承認という運びとなりました。また、次回総会「第63回 東京金山会総会」の日程について、2022年6月19日(日)の開催とすることが承認され、開催に向けての具体的な準備を進めていくことが確認されました。準備状況につきましては、今後こちらでも随時ご報告させていただきます。

## No.191 「森の子ども図書コーナー」 交流サロンぽすと内



「すっぽんぼんのすけ」  
(もとしたいづみ/作 荒井良二/絵 すずき出版)

「はやくパンツをはきなさいー」とお母さんは言うけれど、お風呂上りは裸が一番。  
「庭の外へ出ちゃえ！」すると、出てきた忍者たち。  
「僕は、すっぽんぼんのすけだ〜えいっ！」忍者たち、一人残らず出て行った。そこへ、  
「うちの子、みいちゃんが連れ去られてしまったのです。どうか助けて」と、涙、涙の母さん猫。  
猫のみいちゃんを救出するため、悪に立ち向かうすっぽんぼんのすけ。いよっ、頑張れ、すっぽんぼんのすけ！



※( )内作者名

- キャラ絵で学ぶ! 都道府県図鑑 (いとうみつる)
- キャラ絵で学ぶ! 世界の国図鑑 (いとうみつる)
- キャラ絵で学ぶ! 織田信長図鑑 (いとうみつる)
- あちらにいる鬼 (井上荒野)

## 「図書室だより」

中央公民館内 9:00 ▶ 16:00

「目の見えない白鳥さんとアートを一緒にいこう」  
(介内有緒 集英社インターナショナル)  
白鳥建二さん、51歳、全盲。年に何十回も美術館に通う。絵画や仏像、現代美術を前にして会話をしていると、新しい世界の扉がどんどん開き、それまで見えていなかったことが見えてきた。アートの意味、生きること、障害を持つこと、一緒に笑うこと。白鳥さんとアートを旅して、見えてきたことの物語。



「働く人のための言いかえ図鑑」  
(大野明子/サンマーク出版)  
オフィスワーカー、接客業、アルバイト...など、すべての「働く人」に贈る1冊。同じことを伝える場合でも「使う言葉」次第で印象はがらっと変わるもの。仕事のやりがいも、トラブルも、とっさの「ひと言」がきっかけ。良好な人間関係を築くための「ひと言」が身につく本です。



今月は8冊!

- 吾妻おもかげ (梶よう子)
- 残照の頂 山女日記 続 (湊かなえ)
- 北斗の邦へ翔べ (谷津矢車)
- 九十八歳。戦いやまず日は暮れず (佐藤愛子)

## 地域おこし協力隊 通信 No.6

### 冬の馬体験

隊員 鈴木 朋広



こんにちは、協力隊の鈴木です。10月末のめごたまマルシェから始まった馬車体験は11月末で終了となりました。わずかに月足らずでしたが、こども園や小学校、地元有屋地区での馬車運行を中心にやってきました。有屋地区は降雪の時期も早く11月いっぱいに行ける期間のような気がします。  
来年度は春から町の中に降りて行って、町中で定期的に馬車を走らせようと思っています。町民の方にはフリーパスなどを配って、気軽に利用できるようにしたいと考えていますので、よろしくお願いします。雪次第ではありますが、町の中ならばもう少し長い期間活動できるかと思っています。さて、今年の金山の冬は、どれぐらいの積雪になるのかわかりませんが、冬の寒



Facebookで活動を発信しています!ぜひチェックしてください!



有屋小学校の馬車体験の様子

い期間、馬は逆に元気になります。雪が積もったら、今度は神室スキー場で馬糞やバナナボートなどを引いて遊ぼうと思っています。神室スキー場近辺にいらした際は、馬のいる辺りを覗きにきてくださいね。

## ふんげい

### 金山杉俳句会報 第四五八回

### かねやま紅風会

消壺の中を覗くや鳥瓜 星川 キエ子  
秋天へ彩を忘るる弥陀ヶ原 岸 昭子  
夕霧にいきなり人の聲近し 菅 越 庄司 けみ子  
蔵王の嶺樹々に霧水の華やげり 荒屋 関 喜美子  
霧晴れて照葉麗し里の山 高橋 洋子  
冬枯れの畑の梢や雨催 七日町 青柳 キエ子  
冠雪の月山美しき車窓かな 鷗沼 よし子  
旅先の孫の絵手紙黄葉舞ふ 野良犬の遠吠えのごと虎落笛 黒散らす虎の模様の柿を剥く 羽場 坂本 徳太郎  
銀杏の葉まだ残りても霽降る 阿部 一代  
食欲を唆る秋刀魚の炭火焼 みぞれ降る大沢越えのいろは坂 上 台 阿部 一步  
老骨の軋みを縛り冬支度 栗田 弥超  
爪を切る小春の日差背に負ひて 未完成的ものへ指折る年の暮れ 箸休め冬至南瓜を偲ぶ宵 七日町 村松 奈風